

珍
スポット在中



つばたPR特使
月亭方正

つばた 津幡の珍スポガイド



寄り道して津幡へ行こう!
金沢から車で15分 



Tsubata
Kanazawa



大河ドラマ誘致推進キャラクター

みんなに知って欲しい!

津幡が誇る^珍スポット

日本三不動尊のひとつは津幡にある!

俱利伽羅不動明王

俱利伽羅不動明王は日本では一尊であり、千葉の成田不動尊(千葉県)、相模の大山不動尊(神奈川県)と共に日本三不動のひとつとされ、縁日の28日には多数の参詣者が訪れる、北陸はもとより全国の不動尊霊場となっています。

俱利伽羅不動寺 山頂本堂

石川県と富山県の県境にある高野山真言宗の寺院です。今から約1,300年前の養老2(718)年に、中国から渡来したインドの高僧、善無畏三蔵法師が俱利伽羅不動明王の姿を彫刻された尊像を元正天皇の勅願により奉安されたことが始まりと伝えられています。春になると山一帯に八重桜が咲き誇り、立山連峰と日本海を望む景色が楽しめます。

俱利伽羅不動寺 西之坊鳳凰殿

俱利伽羅不動寺には、かつて七堂伽藍と十二ヶ寺が建立されており、その伽藍の復興事業の一つとして平成10(1998)年に鳳凰殿が建立されました。左右75mもある壮大な木造建築は、平安時代の寝殿造りの様式を採り入れ、荘厳優雅な雰囲気を漂わせています。境内には池のある庭園があり、ツツジやボタンなど四季折々の花が楽しめます。また、毎年8月15日には万灯会が行われ、お堂を中心に境内一杯に灯明がお供えされます。



禁酒の村

大正15(1926)年4月1日、河合谷村長の森山忠省氏の提唱により、老朽化した河合谷小学校の改築費45,000円を捻出するために、村をあげての禁酒が実施されました。このことが当時の新聞で報道されると、多くの激励と賛辞が寄せられ、同年7月には新校舎が完成しました。その後も禁酒は約20年にわたって続けられました。

当時、村の入り口である大海川の濁澄橋たもとには、この村が禁酒村であることを知らせるために石碑が建てられていました。この禁酒の碑は、後に小学校中庭に移され、現在は河合谷ふれあいセンターの前庭に置かれています。河合谷ふれあいセンターに併設されている「祭事の館」には、河合谷の各集落に伝わる獅子頭や神輿などが展示されています。

令和3年7月には、「禁酒の学校(旧河合谷小学校)」の跡地に、宿泊・入浴・バーベキュー・農林業体験等、河合谷の豊かな自然環境を活かしたプログラムを体験できる河合谷宿泊体験交流施設『河愛の里 kinschule』がオープンしました。河合谷の里山の自然を感じ、農山村の風土を五感で感じて味わえる、気づきと発想の「学校」になることを目指しています。



河愛の里 キンシュレ

新幹線の見える丘公園

町の中心部から東へ約3km離れた、新幹線高架橋に隣接する旭山工業団地の中にあります。展望広場からは杉瀬トンネルと明神トンネルに囲まれた区間を一望でき、県内で唯一高台から新幹線が見下ろせるたいへん珍しいスポットです。展望広場にある案内看板には、北陸新幹線の通過予定時刻が掲載してあります。



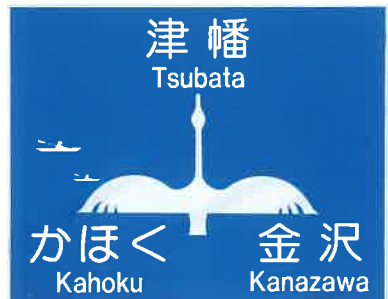
MISIAの森

平成22年に開催された「COP10」(国連生物多様性条約第10回締約国会議)の国連名誉大使を務めた歌手MISIAさんが同年、石川県知事を表敬訪問した際に、「自然豊かな石川で生物多様性の大切さを発信したい。」と提唱し、平成23年5月22日、国連が定める国際生物多様性の日に合わせて、石川県森林公園で、「MISIAの森」プロジェクトがスタートしました。このプロジェクトでは、森の保全活動や環境教育、アートを通じての「豊かな森」づくりを行います。森には、MISIAさんが植栽された木のほか、デザインした巣箱が設置されています。



昭和の花咲かじいさん

俱利伽羅山頂付近にある俱利伽羅公園は八重桜の名勝であり、河北潟や立山連峰も眺望できます。ここには「昭和の花咲かじいさん」と呼ばれた、高岡市の高木勝己さんの胸像が設置されています。高木さんは昭和9(1934)年、俱利伽羅峠で車の故障により30メートルのげけ下に車もろとも転落しましたが、乗っていた高木さんとその助手は不思議にも全くの無傷でした。時が過ぎ昭和34(1959)年1月、三晩続けて枕辺に不動明王が立たれ「今、俱利伽羅はさびれているので、なんとか賑やかにしてほしい」とのお告げがありました。かつての事故で九死に一生を得たのは不動明王のおかげだったと悟った高木さんは、恩返しとして奥さんとともに桜の苗木を私費で植え始めました。現在ではその意思を引き継いだ人々の手によって、桜は大切に守られています。



白鳥が津幡をご案内!?

ハクチョウの道路標識

津幡町は平成2(1990)年にハクチョウを「町の鳥」に指定し、ハクチョウをデザインした道路標識214基を設置するなど「白鳥のまち」を発信しています。町の鳥「ハクチョウ」が矢印代わりの標識は、町のなかにも丘の上にも森のなかにもハクチョウがいるという本町の新しい景観となり町の中にすっかりとけこんでいます。町ではコハクチョウが飛来しやすいように、農家に協力を求めて冬季の水田の水張りを奨励するなどコハクチョウの環境に適した対策を実施しています。



津幡を救った守り神

津幡町加賀爪の故岡本七郎さんが製作した犬の置物が、津幡町のあちこちに置かれています。その犬は、昭和19(1944)年春頃に津幡町で大雨が降り、今の森林公園近くのため池が決壊しそうになった時、その事を知らせてくれ、危うく難を逃れる事ができたという伝説のある犬。その置物にちなんで命名されたのがパビィ1通りです。



巨大ひまわり迷路!?

河北潟干拓地の夏の風物詩である「ひまわり村」は、干拓地農業への理解と親しみを深めてもらうことを目的に、平成7年に開村しました。毎年5月下旬に地元の園児たちが種まきをし、7月下旬から8月上旬にかけて、2.3haに35万本のヒマワリが咲き誇ります。高さ2mほどのヒマワリの間を縫って、全長約1kmの迷路を楽しむことができます。また付近には牛乳やアイスクリーム、河北潟干拓地で育てた様々な花や、ハーブを使用した製品の直売所があります。

観光ボランティアガイド

「つばたふるさと探偵団」がご案内します

津幡町の歴史・史跡・観光スポットをご案内します。2名様以上でお申し込みください。原則無料ですが、案内に係る交通費や昼食代をご負担していただく場合もございます。案内日の1週間前までにお申し込みください。

お申し込み先: つばたふるさと探偵団事務局(津幡町産業振興課内) TEL 076-288-6704

(受付時間は平日午前8時30分～午後5時)

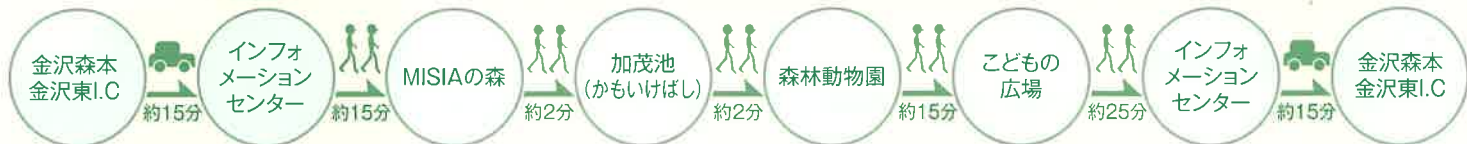


珍スポット ドライブコース 1



よしなかくん
(木曾義仲)

本州最大規模の 森林公園を満喫



石川県森林公園 Ishikawa Prefecture Forest Park

総面積1,150haを有する石川県森林公園は、津幡町の中心部から約3kmの位置にあります。道路状況は公園の南側には国道8号線が金沢市方面と、津幡町倶利伽羅峠を経て、小矢部市、富山市へと通じており、また西側には国道159号線が津幡から分岐して能登半島へ伸びています。その他、周辺を県道瓜生能瀬線、訪谷津幡線等が取り巻いており、どの方面からも進入できる道路網が整備されています。



園内には広大な雑木林のほか、ため池や湿生植物園などがあり、四季折々の変化に富んだ里山の自然を楽しむことができます。また、各エリアには、目的に応じた数々の施設が整っていて、自然学習、スポーツ、キャンプなどさまざまな体験ができます。また、ドッグランや全天候型の木育遊戯施設も加わり、フィールドアスレチックもリニューアルされました。シカやサルなどがいる森林動物園には、野鳥や昆虫も多く生息し、野生のタヌキやリスに出会うこともあります。



森林セラピー®基地 Forest Therapy Base

石川県森林公園は、平成25年3月に県内で初めて「森林セラピー基地」に認定されました。森林が持つ力はこれまで森林浴として知られてきましたが、あくまでも感覚的なものでした。この森林浴の癒し効果を科学的に解明し、心と身体を健康にしようとする試みが森林浴から一歩進んだ「森林セラピー」です。

森林公園内には、歩きやすく景観に優れた5本のセラピーロードが設置されています。現代人は、人工物に囲まれて常にストレスにさらされています。なんだか疲れてしまったな...というときには、森林セラピー基地へ来て、木々の香りや小鳥のさえずりなど、癒し効果を五感で感じ、心身ともにリラックスしてみたいはいかがでしょうか。

また、園内にある「森のレストラン」では、ヘルシーな「森のセラピーランチ」を味わうことができます。(平日のみ、要予約TEL 076-289-6378)



珍スポット ドライブコース 2



ともえちゃん
(巴御前)

歴史好きにオススメ! 倶利伽羅古戦場探訪



石川県津幡町と富山県小矢部市との境にある旧北陸道の倶利伽羅峠を舞台に、約500頭の牛の角に松明をくくりつけ、平家の陣へ追いつける、木曾義仲の「火牛の計」が展開されました。この戦法により、平家の軍勢は地獄谷へと転げ落ち、義仲は上洛の道を進みました。

埴生護国八幡宮 Hanyu Gokoku Hachimangu Shrine

倶利伽羅峠の東側に位置し、1300年余りの歴史を誇る埴生護国八幡宮は、八幡神を祀り、寿永2(1183)年の倶利伽羅源平合戦で義仲が戦勝祈願した宮として知られます。合戦以降「勝ち運の神」として戦国時代は佐々成政らが、藩政期には加賀藩前田家があつい信仰を寄せました。



歴史国道「北陸道」 Hokuriku road

「北陸道 倶利伽羅峠」は、源平合戦の「火牛の計」に関わる史跡や加賀藩の参勤交代のための往還道など、歴史的・文化的価値が評価され、富山県小矢部市桜町～石川県津幡町竹橋までの延長12.8kmが平成7年6月に歴史国道として認定されました。峠一帯は、往時の情景を色濃く残しています。



龍ヶ峰城跡公園 Ryuugamine Castle Site Park

標高195mの龍ヶ峰に築かれた龍ヶ峰城は、加越国境の倶利伽羅峠を通る歴史国道「北陸道」沿いにありました。古来から交通の要衝であった津幡では、中世から近世にかけて一向一揆や、前田利家と佐々成政との戦いなど戦渦に巻き込まれることが多く、こうした歴史的背景の中で、龍ヶ峰城は一向宗や佐々成政勢の城として活用されてきました。

築城年月は不明ですが、加賀一向一揆の勢力が加越国境の倶利伽羅峠を通る北陸道を抑えるために築いたとされています。最初是一向一揆に加担する土豪、村上右衛門が在城しますが、天正元(1573)年に上杉謙信が攻め落とし、後に佐々成政の属城となり、最後は前田利家の弟前田秀継・利英父子が攻略し、加賀藩前田家の属城となりました。

道の駅 倶利伽羅源平の郷 Kurikara Genpei No Sato Road Station

道の駅倶利伽羅源平の郷がある津幡町竹橋は、北国街道の宿場町として栄えました。また、加賀百万石の加賀藩が参勤交代で往来した地でもあります。道の駅には、倶利伽羅峠が果たしてきた役割をパネル等で紹介し、その変遷を知ることができる倶利伽羅源平の郷竹橋口(歴史資料館)、宿泊体験・研修施設の倶利伽羅塾、大きな芝生広場などがあり、観光をはじめ県内外のドライバーが安心して利用できる施設です。平成16年8月に道の駅に認定されました。



巴塚 Tomoe grave mound

巴御前は、2歳の義仲(駒王丸)を引き取った信濃国司の代理、中原兼遠の娘。色白で美麗、容顏の女性でした。また騎馬にたけ、弓矢打ちの達人でもあり、義仲とは幼いころより共に武術に励みました。倶利伽羅源平合戦の際には、一部隊を率いて大勝利に貢献し、義仲と共に入洛しました。このころ巴御前は、義仲の妻とも愛妾ともいわれました。

義仲の戦死後は、源頼朝に捕えられ、御家人の和田太郎義盛の妻になり、その後、出家して尼僧になり、91歳で亡くなる際には倶利伽羅源平合戦で戦死したといわれる葵御前のそばに墓を建てるよう遺言したといいます。



火牛の計、見晴らし台 (地獄谷) The Fire Bull Strategy, Look out Point (Hell Valley)

寿永2(1183)年木曾義仲は、倶利伽羅山で平家の総大将平維盛の軍と戦いました。維盛は倶利伽羅山中の猿ヶ馬場に本陣をしいて源氏軍を待ちかまえていました。しかし源氏の木曾義仲は奇襲戦法「火牛の計」を図り、5月11日夜半、上方より法螺貝、太鼓を鳴らしたうえ、角にたいまつをつけた牛(火牛)500頭を平家軍につっこませました。昼間の進軍で疲れきっていた平家軍1万8千余騎は奇襲を受け、右往左往し何もできず、追いつめられ、人馬もろとも地獄谷に突き落とされたといいます。木曾義仲率いる源氏軍は勝利を収め、平家軍を壊滅させました。



珍スポット ドライブコース 3

自然と心が癒される パワースポットめぐり



木窪大滝(牛首) Kinokubo Ootaki (Water Fall)
기노쿠보오타키

宝達山系の尾根、富山県の沢川に源を発し、木ノ窪川に流れ込んで、この滝となります。幅約7m、高さ約15mを誇る本町最大の滝で、落水の響きはその冷氣とともに広がり、神々しさとなって訪れる人達を包み込みます。秋には紅葉狩りと、毎年1万人を超える観光客が訪れています。

「縁結びの杉」の話(ハノ谷) The Japanese Cedar of Marriage
인연맺기 삼나무



江戸時代中頃、庄助という百姓がいました。親・兄弟もなく30歳まで1人暮しで、誠実な若者として、近所の評判もよかったそうです。

ある夜、夢の中に白ヒゲの白衣を着た老人が現れ、「そなたの誠実さに対し、妻をめとらすから、明日、八幡神社の杉の木のところへ来るように」と言われ、お告げのとおり翌日、杉の木のところへ行ってみると、美しい娘が立っていました。彼女も同じく夢のお告げでここへ来たということです。こうして人もうらやむ夫婦が生まれました。

それ以来、この木は「縁結びの杉」と呼ばれており、高さ25m、幹周り4.3mあります。



出雲神社社叢(種) Izumo Shrine Forest
이즈모신사 숲

シイの原生林で、その広さは約700㎡あります。繁殖するシイの樹齢は約600年といわれ、直径30cmもある藤づるがからみついた古木が、その歴史を物語っています。

昼なおうす暗い社叢には、昔、天狗が住むといわれたほどで、境内周囲のたたずまいとは別天地のようです。

また、境内には力自慢をきそった盤持石が3つ今も残っています。



峨山禅師生誕地(瓜生) Gazan-zenji Birth Place
가잔젠지 탄생지

峨山禅師は、比叡山で天台の教えを究めた後に下山し、大乘寺を開いた瑩山紹瑾師に学び、禅宗に衣を変えました。総持寺(石川県輪島市(旧門前町))を曹洞宗の大本山として盛り立て、多くの傑僧を育てたほか、1万4千余の末寺建立の基礎を作りました。

滝の谷霊水(上大田) Taki no tani Spiritual Water
다키노타니 영수

国道471号線の改修で甦った名水。まろやかな口当たりと甘みのある味で、連日多くの人々が訪れています。霊水の前には、その日収穫したばかりの新鮮な野菜や果物、手作りの民芸品などの販売所もあります。



河合谷の郷即売所(上大田) Kawaidani no Sato Farmers' Market
가와이다니의 향토직매소

「滝の谷霊水」前で、地元でとれた新鮮野菜や山菜、名物の笹もちなどを販売しています。瓦屋根にシックい古民家風の外観。ドライブ途中に一服してみたいいかがですか？



津幡のイベント



能瀬川公園桜まつり
4月第2日曜日

能瀬川公園をメイン会場に開催されます。承久の乱で配流となった順徳上皇が英田地区に立ち寄ったとする伝説をモチーフに、企画・運営する祭典で、和船による体験遊覧が人気です。和船に乗りながら満開の桜とキラキラ輝く川面を眺めてみませんか。



歴史国道イベント「くりから夢街道ウォーク」
春

俱利伽羅古戦場で源平合戦をモチーフに、長さ120m・太さ12cmの大綱を石川県津幡町・富山県小矢部市のそれぞれで募った参加者で引き合う「加賀VS越中の大綱引き合戦」を開催。大綱引きの後は、八重桜が咲き誇る北陸道を、俱利伽羅山頂から武者行列とともに下ります。道中、龍ヶ峰城跡公園では、団子やお茶が振る舞われるほか、観光ボランティアガイドからとっておきのエピソードも聞けます。このほか郷土芸能などのアトラクションもあります。



俱利伽羅さん八重桜まつり
4月中旬～5月上旬

期間中には、不動寺境内で厄除け念仏赤餅が販売されます。毎年4月下旬～5月上旬には俱利伽羅山一帯に約6,000本もの八重桜が咲き誇り、俱利伽羅山の頂上付近にボンボリやちようちゃんが設置され、八重桜を華やかに演出します。



峨山禅師生誕祭
6月23日

曹洞宗の高僧、峨山禅師の生誕地である瓜生区では、大正14(1925)年に、禅師の高い徳を敬い顕彰碑が建てられました。この碑が建つ「峨山園」では、毎年6月23日に、禅師の功績を偲んで生誕祭が行われます。



つばたまつり
8月1日に最も近い土曜日

夏の一大イベントであるこのまつり。ステージイベント、華やかな踊り流し、模擬店など、催しも盛りだくさん。



全国選抜社会人相撲選手権大会
8月1日に最も近い日曜日

安土桃山時代から盛大に催されてきた「八朔大相撲」を、昭和45(1970)年に改めたもの。全国から選抜された社会人相撲の強豪24チームが集結し、日本相撲連盟公認のタイトルをかけて争います。真夏の一日、その力と技を競い合う大会は、相撲ファンには見逃せません。



川尻ちょんがり踊り
8月中旬

毎年うら盆の8月14・15日と秋祭りの8月24日の3日間、井上地区の医師神社境内で踊られます。踊りには太鼓・拍子木・笛などが加わり踊り子は編笠と手甲を付けます。編笠には男蝶・女蝶という飾りを付け、また手甲の背には鈴を幾つか付けて動くたびにやさしい音を響かせます。踊り唄は昔、3種類ありましたが、現在は主に「さんばさ」と「ちょんがり」が唄われています。



つばたレガッタ
8月中旬

日本海側随一のボートコースを職場の方や仲良しグループ、ご近所の方とチームを組んで、漕いでみませんか。ナックルフォア艇で競漕するつばたレガッタには町外にお住まいの方も参加できますので、お問い合わせのうえ、お申し込みください。



津幡四町獅子舞頭合せ
9月中旬

白鹿の皮がはられた津幡区「けんか獅子」、鋭い眼光を左右に向ける清水区「熊獅子」、黒熊の皮がはられた庄区「大獅子」、朱漆塗の加賀爪区「赤獅子」、津幡地区の四つの獅子が一箇所に勢ぞろいし、勇壮な獅子舞の競演が繰り広げられます。その他、河合谷地区、中条地区でも獅子舞が行われています。



まだまだある 津幡のイベント

河北潟ふれあいフェスタ 11月第1日曜日

河合谷の郷収穫祭り 11月中旬

津幡町椿展 3月下旬



津幡町の文化財

お問い合わせ先:津幡町教育委員会 生涯教育課 TEL076-288-2125

種 別	文化財名	管理者・所有者（所在地）
建 造 物	宝 塔	鳥 越
	手 向 神 社 石 堂 神 殿	手 向 神 社（俱 利 伽 羅）
	俱 利 伽 羅 権 現 石 殿 附 石 段	〃
絵 画	奥 野 家 住 宅 ・ 土 蔵 ・ 門	川 尻
	寒 梅 に 小 鳥 の 図	加 賀 神 社（ 潟 端 ）
	野 馬 の 図	〃
彫 刻	羅 漢 像	俱 利 伽 羅 不 動 寺（俱 利 伽 羅）
	十 一 面 観 音 菩 薩 像	〃
	阿 弥 陀 如 来 像	〃
工 芸 品	秀 雅 上 人 像	俱 利 伽 羅
	本 福 寺 梵 鐘	本 福 寺（ 北 中 条 ）
	教 願 寺 梵 鐘	教 願 寺（ 竹 橋 ）
書 跡	松 雲 公 御 筆	加 賀 神 社（ 潟 端 ）
	利 長 公 御 筆	〃
	古 文 書	〃
古 文 書	古 文 書（ 頼 朝 下 文 ）	俱 利 伽 羅 不 動 寺（俱 利 伽 羅）
	俱 利 伽 羅 長 楽 寺 文 書	〃
	加 賀 郡 勝 示 札 か が ぐ ん ぼ う じ ふ だ	石 川 県
	浅 田 区 村 御 印	浅 田
	刈 安 区 村 御 印	刈 安
	御 門 区 村 御 印	御 門
考 古 資 料	田 屋 森 山 遺 跡 出 土 古 銭	津 幡 町 教 育 委 員 会（吉 倉）
歴 史 資 料	青い目の人形 ジェーン・オルフ	津 幡 町 教 育 委 員 会（北 中 条）
	俱 利 伽 羅 合 戦 図 屏 風	俱 利 伽 羅 神 社（ 竹 橋 ）
無 形 文 化 財	チ ョ ン ガ リ 音 頭 ・ 踊 り	チ ョ ン ガ リ 保 存 会（川 尻）
	デ ン デ コ 太 鼓	デ ン デ コ 太 鼓 保 存 会（笠 池 ヶ 原）
有 形 民 俗 文 化 財	白 鳥 神 社 祈 雨 祭 資 料	加 賀 爪
	猪 塚	杉 瀬
史 跡	為 広 塚	清 水
	鳥 越 城 跡	七 黒
	峨 山 禪 師 生 誕 地	瓜 生
	長 楽 寺 跡	俱 利 伽 羅 不 動 寺（俱 利 伽 羅）
	津 幡 城 跡	清 水
	鳥 越 弘 願 寺 跡	鳥 越
	七 野 墳 墓 群（ 2 ・ 3 ・ 4 号 基 ）	俱 利 伽 羅 不 動 寺（七 野）
	龍 ヶ 峰 城 跡	津 幡 町（ 山 森 ）
	北 国 街 道 俱 利 伽 羅 峠 道	津 幡 町（ 町 道 竹 橋 俱 利 伽 羅 線 ）
	加 茂 遺 跡	加 茂 他
天 然 記 念 物	御 山 神 社 社 叢（ ブ ナ ・ イ ヌ シ デ ）	御 山 神 社 氏 子 会（下 河 合）
	甲 斐 崎 神 社 社 叢（ ア カ ガ シ ）	大 熊
	出 雲 神 社 社 叢（ ス ダ ジ イ ）	種
	蓮 如 上 人 お 手 植 え の イ チ ョ ウ	笠 池 ヶ 原
	鳥 越 弘 願 寺 跡 の ハ リ ギ リ （ 火 除 け の セ ン ノ キ ）	鳥 越
	鳥 越 弘 願 寺 跡 の ア テ （ ヒ ノ キ ア ス ナ ロ ）	〃



津幡町観光
マップは
こちら



津幡町観光
PR用
VR動画は
こちら

交通のご案内

- ◆ 飛行機をご利用の場合
 - 小松空港から車で約40分
 - のと里山空港から車で約80分
- ◆ 車をご利用の場合
 - 北陸自動車道
 - 金沢東ICから約15分
 - 金沢森本ICから約15分
- ◆ 鉄道をご利用の場合
 - 金沢駅⇒IR津幡駅 約12分



TSUBATA TOWN ISHIKAWA

石川県 津幡町

●お問い合わせ 津幡町 産業振興課
TEL.076-288-6704
FAX.076-288-6470

〒929-0393 石川県河北郡津幡町字加賀爪二3番地
E-mail sangyou@town.tsubata.lg.jp